

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	1人	人	12人

前回の改善計画	職員も利用の様子などをご家族に伝え、不安を受け止める関係を築いてゆく。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時には必ず言葉を交わすようした。送迎を行っていない職員は、家族送迎のご家族やメールにて状況をこまめにお伝えし、関係を築いている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	6人	2人	1人	12人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5人	6人	1人	人	12人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7人	5人		人	12人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6人	3人	3人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>全員が利用開始前の情報収集、利用開始後の環境の変化に注意して声掛けを行っている。 家族とのコミュニケーションをとることに留意している。 また、利用前の情報とは別に、本人の性格や体の様子を朝礼や連絡ノートを活用してスタッフ間で情報共有できている。細かな気づきも、共有ノートに書き込むようにした。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>見学から利用開始までの期間が短く、早急にサービスが必要になることが多いため、本人の状態把握、情報収集に努めること、本人の不安を受け止めることが精一杯で、介護者の不安を受け止めるまで配慮が出来ていないと感じている職員がいる 調理担当や入職3ヶ月未満の職員は、ご本人や家族との関わりを密にできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>初回利用の1ヶ月程度は、特に連絡帳に詳しくその日の様子を記入したり、送迎時に利用者の様子を詳しく伝え、ご家族との関係を築いていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	人	4人	3人	12人

前回の改善計画	現在行っている個人カルテの特記書き出しは継続し、内容の充実をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	新しい職員は関わりが短く、主に開設から関わっている職員が習慣や注意点等の特記事項を書き出して共有の声掛けを行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3人	6人	1人	2人	12人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	7人	2人	人	12人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4人	2人	5人	1人	12人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	4人	3人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の要望などを聞き出せるように、日々の関わりの時間をできるだけ多く取れるようにしている。利用者主体の懇談会を行い、利用者の要望を聞き、食べたい物や行きたい場所などしたいことを職員間で共有し、行事や献立に生かすことができている。 また、その方にあった作業やレクリエーション、動作については作業療法士と連携をとり、日常生活の中で実践できる内容を入れるようにしている。日々の介護のポイントは確認できるようになっている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 介護サービスの細かな内容優先するがために、なぜその介護サービスが必要なのか、その人のゴールはなにかまで全利用者把握できていない。また、現状のサービスの内容・その人の状態をミーティングで話すことが中心になってしまっている為、サービスに対しての振り返りがきちんとできていない。 調理員、看護師、短時間職員など、関わり方が違う。利用者の自己実現を把握できていないと感じている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者懇談会の結果を広報誌に載せ、ご家族にも報告する。 スタッフミーティングにてご利用者の情報共有を行っているが、ケアプランの短期目標の達成についても毎回尋ねるようにし、目標について認識を高めていく。 本人の「～したい」を共有するために想いや希望を聞き書き止めていく。 ICFやマズローの法則などの基礎知識を学ぶ研修を行う
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	2人	人	12人

前回の改善計画
ご利用者について深く知ろうとする姿勢をもって業務をする。
ご利用相談・見学にこられた時から情報収集を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者のことを深く知ることによって、早期に信頼関係が築ける利用者も増えてきた。相談に来られた時には、利用に関係なく、細かな情報も収集しながら介護の相談を受けている。相談に来られた際には所長・ケアマネが不在時でも職員がこまかく内容を収集することで、サービスにつながりやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5人	5人	2人	12人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5人	5人	1人	1人	12人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6人	5人	1人		12人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7人	3人	1人	1人	12人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	4人	7人		1人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
始業前のミーティングは毎朝行い、本人の状況確認、情報共有を行えている。毎月のミーティングでは直近の様子、注意点、変化など話し合いができている。体調の変化に早期に気づき、施設ナースと訪問看護や主治医、ご家族に状況を伝え連携がとれている。また、土日や連休前には受診のことを考え対応できている。
新人スタッフや経験者関係なく、それぞれの視点からの気づきなどを、皆が意見を言える関係ができおり、ご利用者に対して支援ができている。
日々の関わりの中で少しずつ知る喜びも職員間で共有できている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしについては10項目もあげられない事と、生活環境についても把握が不十分であると感じている。
調理担当職員に関しては、食事に関係すること以外の関わりが難しい感じている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
朝の時間を活用して、ご利用者と個々に関われる時間を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	4人	4人	12人

前回の改善計画

お住まいの地域のコミュニティハウスに、送迎途中ご利用者と立ち寄り情報収集をすることを継続していく。常にアンテナをはり、ご利用者に繋げていきたい。送迎の際には、近隣の方とコミュニケーションをとっていく。地域行事などの参加は、年間で行っているものは、事前に各スタッフに割り振っておき、できる限りスタッフ全員が参加できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

継続的にけやき台すずかけ台は情報収集できるようになった。けやき台は地域の方からも情報や誘いがあり利用者とイベントに参加できている

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8人	3人	1人	12人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?	4人	4人	1人	3人	12人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	4人	3人	3人	12人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6人	1人	5人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご利用者の住んでいる地域での催しものや、趣味が活用できる場、ボランティアの情報など常に情報収集に努めている。また、地域ボランティアの方との交流も積極的に行い、行事の際には協力をいただきながら、地域との関わりが持てるように支援している。地域とその地域に住んでいるご利用者を繋ぐ為、送迎時に共にコミュニティハウスに立ち寄っている。職員も自分の住んでいる地域の情報を高齢者目線で見えるようになり、さまざまな気付きがあり、相互作用が働いている

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

転居して来られた方が多く、馴染みの地域でない方もおられる。現在住んでいる地域との関わりが少ない方の新しい地域の社会資源などの把握ができていない。訪問で自宅に行くことがない利用者は日常的にどんなふうにご過ごされているか、把握できていない職員もいる。新入職した職員や調理担当者はご利用者の民生委員や地域資源を知らないことが多いと実感している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ご利用者が住む地域の担当の民生委員と顔見知りになり、関係が途切れぬように支援する。また、ご利用者が地域の敬老会に参加できるよう支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	2人	4人	12人

前回の改善計画
地域担当者として現在4名のスタッフで分担しているが、他のスタッフについても常にアンテナを張り、情報収集に努める。 ボランティアとの交流を積極的に行い、次に繋がるように心がけたり、ボランティアから地域の情報を運んできてもらっていると考え、ご利用者との関わりをもってもらう時間を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域担当者は利用者の住んでいる地域のスポットに送迎途中に立ち寄り情報収集などできている。ご利用者によっては地域での活動や交流をされておらず、知人など全くおられない方もおられる為、各担当者によっては活動内容に違いがある

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5人	3人	1人	3人	12人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8人	4人			12人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6人	4人	2人		12人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7人	4人	1人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者の状況、様子に応じて柔軟に対応している。ご利用者の小さな変化も逃さないように、日々の出来事やご利用者の変化など、職員間で共有し朝の朝礼と月に1回のスタッフミーティングでは、変化や対応を再確認している。また、介護をしている家族の状況や変化にも気を付けるようにし、特に高齢世帯の介護者については、ご利用者と同時に見守りや、ご利用者の生活全体を把握するようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	社会資源にどんなものがあるか把握できていない職員もあり、地域資源を利用していないと感じる職員もいる地域資源が把握できていないので、事業所だけのサービスに偏ってしまう部分がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	社会資源について再認識し、もっと地域資源を使った支援ができるように、見守りをしてくれる近所の人や友人地域のサロンにも参加できるよう探っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

6. 連携・協働

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3人	4人	2人	3人	12人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	2人	3人	4人	12人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5人	2人	2人	3人	12人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6人	6人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の幼稚園児との合同行事は、お互い自然な流れで年二回行っている。看護学生が夏休みに介護体験のボランティアに来たり、地域住民の方が折り紙や、見守り、老人会の婦人部の方々がウエスを作って定期的に寄付して下さったりと、様々な形で交流できている。</p> <p>運営推進会議や担当者会議など、所長やケアマネが参加しているため、他の職員は実際に参加はしていないが会議録で情報を共有している</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域のイベントにも参加することはあるが、その日時にいない職員はイベントに参加できていないため、参加できる職員が限られてしまう。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>介護スタッフも地域の会議に出席したり、ご利用者の福祉用具担当者との意見交換や状況報告、地域の方との交流や自治会の活動(クリーンデー、作品展、ふれあい喫茶)など、交代で参加していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

7. 運営

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	人	3人	3人	12人

前回の改善計画
 議事録などは押印などで、全スタッフが確認したかわかるようにする。会議に参加できる時などは、参加してもらう。利用者懇談会は、現在も家族への案内をしているが周知の方法が悪かった。広報誌にて日時を明確に家族に伝え参加を促し、1か月の取り組み写真などの映写会をし、家族会も兼ねる。担当の職員も、同じ職員ではなく月ごとに担当し全員が参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 議事録はスタッフ間で確認することができた。
 利用者懇談会は、ご家族への案内がしっかりできておらずご利用者のみの開催で、1年間行った。ご利用者の希望や率直な意見を聞き、それを行事や献立に活かし、運営にご利用者の意見を取り入れる事ができた。
 1年の様子を12月に映写会を行い、不参加だったご家族にもDVDを貸し出しし、見て頂いた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	7人	4人	1人		12人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6人	5人	1人		12人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8人	3人	1人		12人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6人	5人		1人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者主体の懇談会を定期的に開催し、ご利用者の想いや意見を聞いて同時に職員も意見を述べている。それを行事や献立に活かし、運営に反映している。地域やボランティアより意見をもらったり、行事やレクレーションで共に活動した時の何気ない声を拾うように心がけている。ご家族からの苦情や意見などは、真摯に受け止め職員間で共有し、早急に対応している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
 ミーティングに参加できていない職員(調理担当者)への伝達が不十分であった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用者懇談会の結果報告を広報誌にのせ、ご家族や地域の方へ伝えるようにする。
 1年間の取り組みの映写会と貸し出しDVDは継続し、定着させる。
 運営推進会議のご家族代表の参加予定を年間で立て置き、当日参加できなかった方からも意見が聞けるように、書面でのご意見収集など行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	2人	人	12人

前回の改善計画

議事録や、研修に参加できなかった人への伝達研修など、事故報告などの書類は、押印するようにし必ず全員が目を通すようにする。
地域の研修や講習は、土日に開催されたり、社内研修も業務終了後のものは、非常勤スタッフの参加が難しい為、社内研修は、職員が参加しやすい時間帯を活用して行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

伝達研修や事故報告などの書類は全員が確認するよう習慣づいたが、専門職など内容によってはバラツキがある。社外の研修には、それぞれのスタッフが興味のある研修にすすんで参加できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5人	7人			12人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7人	5人			12人
③ 地域連絡会に参加していますか	3人		2人	7人	12人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	6人	5人		1人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎月ミーティングの前に勉強会を行っている。内容は、法人としての必須研修とそれ以外に、事業所にあった内容で主に介護に関する勉強会を行っている。自主研修として地域包括主催の研修や地域の学習会へ参加している法人の小規模多機能型居宅介護事業所5事業所で集まり、情報交換や交換研修等を行っている
地域連絡会で知りえた研修や介護に関する情報の資料は伝達し、研修の参加につながっている
地域連絡会は所長・ケアマネが参加して、職員間で情報共有するようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会は所長・ケアマネが参加しており、それ以外の職員は実際に参加できていない。
地域連絡会に参加していない職員は、研修資料や口頭での伝達で連絡会があることを知っている職員もいるが、入職して間もない職員にまで周知できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

リスクマネジメントとして、議事録や不適合報告書(事故報告書)を読み押印をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年10月20日 (18:00 ~ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 橋本・前田・関・岩田・吉田・水戸・村上・溝本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	12人				12人
② 虐待は行われていない	12人				12人
③ プライバシーが守られている	8人	4人			12人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	6人	3人	2人	1人	12人
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	7人	5人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個人を尊重し、ご利用者の状況や変化など、スタッフ間で共有し、質の向上・知識の向上に努めている 排泄時の声掛けから介護の際には、自尊心・羞恥心に配慮して全員が行えている。 成年後見任制度は利用していないが、知識として習得できている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 新入職職員や調理担当者は成年後見制度について、理解できていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
権利擁護の研修を実施し、成年後見制度を理解する	

外部評価 地域かかわりシート②(結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	1	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※ 結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過(姿勢)に対する意見

日々の介護を行いながら、家族とのコミュニケーションや地域の情報収集など、多岐にわたり業務の広さを感じる。

【前回の改善計画に対して意見】

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

地域担当をつけて地域の情報収集されているのは、良いことだと思う。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※ 今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

権利擁護の部分で成年後見制度の研修だけでは不十分。障がい者の方が高齢になり、介護保険制度の対象になった時に、脳性まひ等といったこまかい疾患の理解をしておくこともその人への権利擁護につながる。リスクマネジメントもヒヤリハットをこまめにかける環境が必要。こまかいヒヤリハットをどんどんあげて年間を通して分析することで、ハード面で改善できる部分もでてくる。具体的な改善計画を立てることで次の評価がしやすくなる。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

このような、事業所自己評価を行うにあたって、職員同士が思いを伝えることは大切だと思う。

事業所は忙しい中でも、介護の相談や利用者の相談など対応していると思う。

職員全員が話し合いに参加することは難しいと思うが、年間を通して目標を考えていることがわかり、職員で取り組んでいくことがわかる。

【改善計画】 ※ 後日記入

次年度の研修に障がいの特性や疾患の理解が深まる内容を取り入れる。職員ひとりひとりが、リスクマネジメントに取り組めるようにヒヤリハットが書きやすい環境を整える。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所内は季節感がある装飾をしており、とても家庭的である。来訪時に、スタッフが迎えてくれ、中の様子もすぐに見える。とても入りやすい。

【前回の改善計画】

現在行っている個人カルテの特記書き出しは継続し、内容の充実をする。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

ボランティアが多く入っていることが良い。地域の眼が常にあるということで、開かれた事業所であるということ。地域のボランティアを受け入れるということは社会貢献である。

【改善計画】 ※ 後日記入

ご利用者と一緒に、地域ふれあい喫茶や地域行事へ参加する。
参加時には地域の方々に広報を配る等により情報を発信してゆく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4	1	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所は忙しい中でも相談などに対応していると思う。地域の人に、事業所の名前は知られているが、内容は知られていないと思う。それもあり民生委員の勉強会で、ウッディ地域の介護サービスを学ぶ為、けやきの郷を見学した。

【前回の改善計画】

介護相談会の再開。月1回開催し、継続的に行う。相談日でない日も受入れできることを広報誌に掲載し周知していく。フェイスブックの活用や、近隣住民に活動内容を掲示していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

けやきの郷での取り組みで見させてもらったことは、自治会に報告し、知ってもらうようにしている。夏祭りやとんどなど、参加している姿を見る。規模が大きく、自治会員も大勢いる為、ゆっくり交流するところまでは難しいと思われる。まずは、ふれあいサロンから参加してみてもどうか。住まいがけやき台でなくても、けやきの郷に通っている人は、地域の人として迎えて下さる。若い世代はなかなか広報もみてくれている。

【改善計画】 ※ 後日記入

相談については随時受け、介護相談会を月1回開催する。開催日は広報誌での案内やのぼりなどを使い地域の人に発信していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

元気な時に通っていたサロンに継続して通えればよいと思うが、本人の気持ちや介護が必要な状態もあつたりするため、介護スタッフの助けが必要になってくる。他の利用者もおられるので現場との兼ね合いが難しいと思う。

【前回の改善計画】

地域担当をふやし、スタッフ皆でご利用者の住んでいる地域の情報収集を、継続する。地域サロンと一緒に参加できるような支援を行っていく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

これだけ地域とかかわろうと取り組んでいることは良いと思う。地域の情報を収集したり、利用者と地域とをつなぐために活動していくことは良い。敬老会の参加も介護者同伴で参加してもよいと思う。

【改善計画】 ※ 後日記入

けやき台のふれあいサロンや喫茶にご利用者と参加する。ご利用者にも居住地域の行事の内容を案内する。地域担当による情報収集を継続し、更なる発信活動を進める。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	2
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか？	4	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

議事録の配付については、個人情報のことや内容について開示することは難しいと思う。会議で集まった時に、地域の情報や出来事を共有できる貴重な場である。会議の出席についても、嫁の立場で意見するのはどうかと、そのような場に出てきたがらない人もおおいのではないか。意見を収集できるようにと紙媒体での収集は、望ましくないのではないか。

【前回の改善計画】

運営推進会議の案内、議事録をご家族に配布する。案内にご意見欄を設け、助言していただいているようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

家族の参加を呼びかけるには、曜日固定をなくし、さまざまな日程で行ってはどうか。ご利用者の意見を直接聞くために、利用者代表として出席してもらったり、利用者懇談会のことは、継続していつてはどうか。

【改善計画】 ※ 後日記入

運営推進会議に継続して出席して下さるようご家族に参加を依頼し、1年を通して事業所をみていただく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？	3	2	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	5	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

防災マップが掲示してあり、備蓄もある。1月のとんどの時に防災訓練を行っており、けやきの郷の利用者と職員の姿を見る。

【前回の改善計画】

おむつを備蓄し、災害時に地域に貢献できるように準備しておく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

指定の避難所は小学校になっているが、身障者用、車いすが使用できるトイレが小学校はほとんどない為、けやきの郷で車椅子用のトイレを貸してもらえるとただけでも心強い。福祉避難所に市民センターが指定されているが、実際坂もあり不自由な人は、避難できない恐れがある。けやきの郷のオムツの備蓄情報を聞いておくと、いざという時に地域の人に案内できる。

【改善計画】 ※ 後日記入

地域の防災訓練に参加する。事業所近隣には事業所の防災訓練開催時にお知らせを配布しているが、次年度は、地域の人が参加できるように声掛けする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の 特徴	明るい眺めの良い事業所で、家庭的な雰囲気を大切にし、ご利用者の第二の我が家として、居心地よく安らぎの場になるように心がけている。ご利用者と共に地域とのつながりを大切に、行事を通して交流を深めている。ご利用者のリクエストや季節にあわせた手作りの料理を提供している。
事業所名	小規模多機能型居宅居宅介護 けやきの郷	管理者	橋本 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	2	0	1	1	0	3	0	9

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	運営推進評議会会議で出た意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域の社会資源(ボランティア、バリアフリーのスーパー・車いす用のトイレ・公園)を収集した情報をリスト化したファイルを作成し活用する。	ファイル作成し、地域の介護タクシーや保険外のサービスの情報なども綴って共有している。	成年後見制度の研修だけでは権利擁護の研修としては不十分。その人を守るという意味では障がいや疾患の理解を深める必要がある。また、ヒヤリハットをたくさんあげ分析・改善していく必要がある。	次年度の研修に障がいの特性や疾患の理解が深まる内容を取り入れる。職員ひとりひとりが、リスクマネジメントに取り組めるようにヒヤリハットが書きやすい環境を整える。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域住民が参加できる催しの案内を広報に載せ、地域に案内する。ご利用者と地域の方が交流できるような催しを年2回行う。	地域のボランティアのお力添えもあり、年2回以上の交流が行えた。近隣幼稚園・保育園・老人会など積極的に交流できている。	けやきの郷の事業所の内容が浸透していない。近隣のデイサービスとの違いなどを地域住民はわからない。今回民生委員の見学会を行った。広報などはどこにどのような形で配布しているのか。	ご利用者と一緒に地域ふれあい喫茶や地域行事へ参加し、広報紙等を通して情報を発信してゆく
C. 事業所と地域のかかわり	介護相談会の再開。月1回開催し、継続的に行う。相談日でない日も受入れできることを広報誌に掲載し周知していく。FBの活用や、近隣住民に活動内容を掲示していく。	相談日の固定はせず、いつでもお受けしている。事業所以外のサービスについても把握し、情報提供や担当者に繋いでいる。フェイスブックは小まめに更新している。	相談人数は少ないかもしれないが、相談できる場所として知ってもらえる。小規模を利用する前提での相談になるのではないか。	相談については随時受け、介護相談会を月1回開催する。開催日は広報誌での案内やのぼりなどを使い地域の人に発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域担当をふやし、スタッフ皆でご利用者の住んでいる地域の情報収集を、継続する。地域サロンと一緒に参加できるような支援を行っていく。	ウッディ地区のコミセンに広報を配布に通っている。けやき台、すずかけ台以外の地域の情報収集が難しい。職員の住んでいる地域の情報も気にかけている。	まずはけやき台のサロンに来てほしい。敬老会も介護者同伴での参加が可能である。地域の高齢者の人に参加してほしい。	けやき台のふれあいサロンや喫茶にご利用者と参加する。ご利用者にも居住地域の行事の内容を案内する。地域担当による情報収集を継続し、更なる発信活動を進める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の案内、議事録をご家族に配布する。案内にご意見欄を設け、助言していただいているようにする。	運営推進会議の出席案内は順番に声掛けをしているが、出席者に偏りがある。	家族への議事録送付は個人情報もあり難しいと思う。出席依頼も仕事をもつご家族がほとんどで調整が必要。	運営推進会議に継続して出席して下さるようご家族に参加を依頼し、1年を通して事業所をみていただく。
F. 事業所の防災・災害対策	おむつを備蓄し、災害時に地域に貢献できるように準備しておく。	防災マップは職員の目に触れるように掲示し、停電に備え、水、懐中電灯等備蓄している。地域の防災訓練には職員が参加している。	おむつ等の備蓄があり車いす用のトイレがあるという安心感がある。福祉避難所的な存在になってほしい。	地域の防災訓練に参加する。次年度は、地域の人が事業所の防災訓練に参加できるように声掛けする。